

平成30年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制	1
--------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画	2
--------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

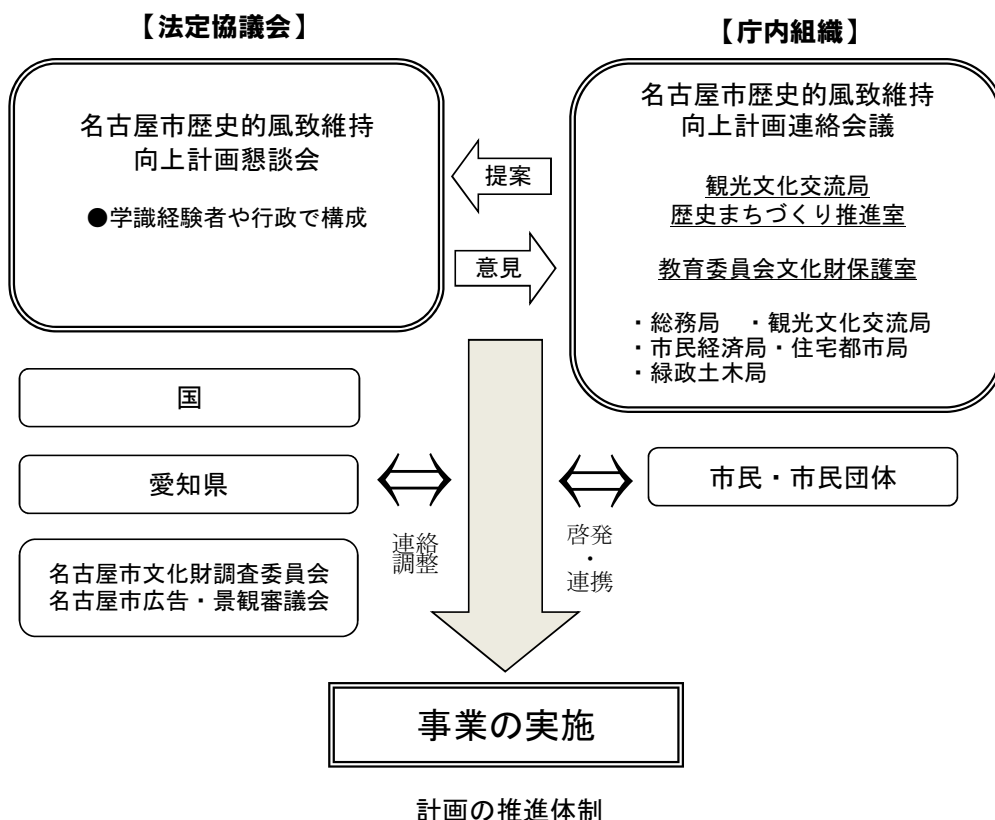
1 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備	3
2 名古屋城二之丸庭園の整備	4
3 名古屋城石垣の整備	5
4 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の 保存・公開と市政資料館としての活用	6
5 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営	7
6 文化のみち榑木館の管理運営	8
7 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上	9
8 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)	10
9 「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	11
10 本町城下町歴史案内板等整備事業	12
11 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榑木地区)	13
12 歴史的町並み保存事業(四間道地区)	14
13 徳川園の管理運営	15
14 蓬左文庫の保存と公開活用	16
15 堀川の総合整備	17
16 尾張名所図会看板の整備	18
17 中川運河の再生	19
18 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)	20
19 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業	21
20 歴史的建造物の登録・認定	22
21 なごや歴まちびとの派遣	23
22 文化のみちの推進	24
23 「歴史の里」整備事業(公開活用事業)	25
24 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業	26
25 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援	27
26 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	28
27 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理	29
28 郷土ゆかりの文学資料室	30
29 水上交通ネットワークの検討	31
30 「ものづくり文化の道」推進事業	32
31 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業	33
32 熱田区役所における歴史資料展示	34
33 名古屋まつり	35

34	山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業	36
35	伝統産業若手育成事業助成	37
36	伝統産業新商品開発事業助成	38
37	伝統産業製品PR事業助成	39
38	名古屋市民芸術祭	40
39	なごや子どものための巡回劇場	41
40	名古屋市芸術文化団体活動助成	42
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1	文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の 策定・見直しなど	43
2	文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の 周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など	44
3	防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) 文化財防火デー等の防災訓練の取組	45
4	文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援 (保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、 民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等	46
5	埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)	47
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		48
⑥その他(様式1-6)		49
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)		50

評価軸①

組織体制

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画の実施・推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	観光文化交流局歴史まちづくり推進室及び教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでに以下の内容で「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。 平成27年5月…平成25・26年度分進捗評価 平成28年3月…平成27年度分進捗評価 平成29年5月…平成28年度分進捗評価、平成26～28年度総括評価 平成30年5月…平成29年度分進捗評価			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も関係課及び有識者懇談会との連絡調整を図りながら計画を推進していく。	
状況を示す写真や資料等			



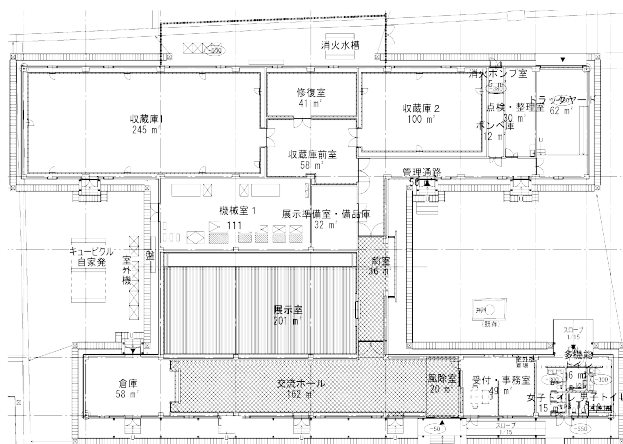
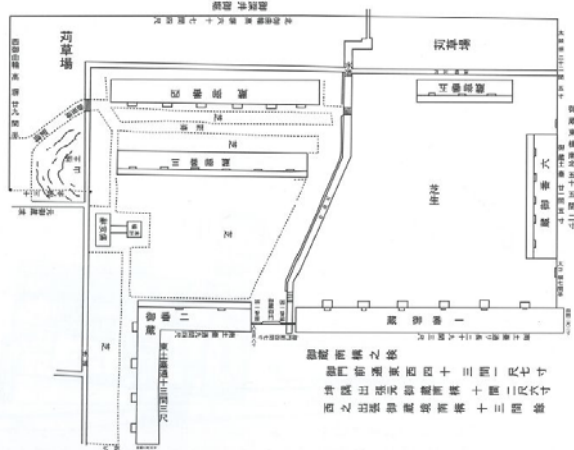
評価軸②

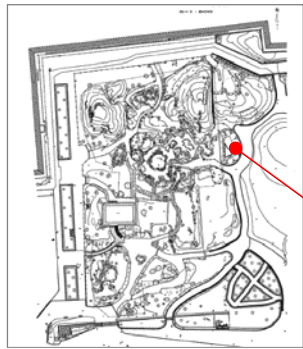
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観計画			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建築物等についての保全(景観重要建築物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。 ・都市景観形成地区における届出件数 [平成29年度] 500件 [平成30年度] 488件 ・都市景観重要建築物等への助成 [平成29年度] 2件 [平成30年度] 0件 ・屋外広告物許可 [平成29年度] 10,837件 [平成30年度] 11,169件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	那古野一丁目地区における景観に関するルールづくり等について具体的な検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			
○那古野一丁目地区の景観まちづくり - 事業の概要 - 四間道都市景観形成地区の西側に隣接する那古野一丁目地区について、狭い路地や瓦屋根の木造住宅が残る非常に魅力的な地域であることから、都市景観形成地区の拡充を含め、景観に関するルール化を見据えたまちづくりを推進する。 - 経緯 - 平成30年9月～、那古野一丁目地区勉強会を開催(計5回) - 平成31年3月、目指すまちの姿を取りまとめ地区内に掲示 - 今後の進め方 - 景観に関するルール化について具体的に検討 - 積極的にまちづくりの機運醸成を図るための意識啓発 ○街並み環境整備事業の推進検討 - 事業の概要 - 四間道地域全体の魅力向上を図るため、国の補助制度である街並み環境整備事業の制度を活用し、電線地中化や防災、建物の修景などの実現に向け検討する。 - 経緯 - 平成30年10月、四間道都市景観形成地区指定 - 平成31年4月、四間道都市景観形成地区制度運用開始 - 今後の進め方 - 事業化に向けた庁内調整 - 事業化に向けた地域調整等 - 地域への意識啓発 区域イメージ ☐ 四間道都市景観形成地区 (約3ha) ☒ 街並み環境整備事業 事業化検討範囲 (約17ha) ※現在検討中であり、概ねの範囲です。 ☒ 那古野一丁目地区 (約4ha) ※現在検討中であり、概ねの範囲です。 勉強会の様子			

評価軸③-1

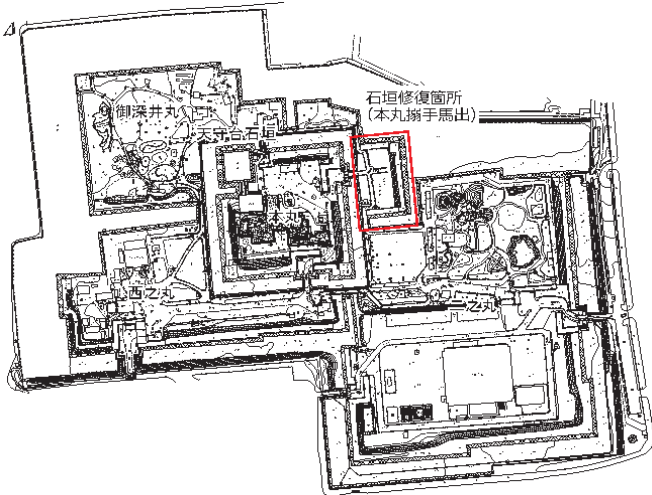
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成32年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。 平成26年度は、展示収蔵施設予定地の埋蔵文化財発掘調査を行った。 平成27年度は、展示収蔵施設の基本設計等を行った。 平成28年度は、展示収蔵施設の実施設計等を行った。 平成29年度は、展示収蔵施設の建設工事に着手した。 平成30年度は、展示収蔵施設の建設工事をを行い、竣工した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後は外構整備を予定しているが、江戸時代後期の米蔵構図を踏まえた整備を検討する必要がある。
状況を示す写真や資料等		
 平面図  御米蔵構図(原図は「金城温古録」所収)  北東から撮影  東から撮影		

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25・26年度に石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、平成26年度に権現山並びに笹巻山の修理を行った。 平成27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の築山修復を行った。 平成28年度は栄螺山の盛土修復及び権現山西側の築山の修復を行った。 平成29年度は北園池の岩組、護岸、中島、築山周辺の修復を行った。 平成30年2月には、国指定名勝庭園区域が拡大された。 平成30年度は余芳移築再建予定地周辺の一次造成及び北園池の景石の修理を行った。 平成25～30年度ともに、発掘調査現地説明会を開催した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名勝名古屋城二之丸庭園の往時の景観を取り戻すため、庭園の修復・保存整備を進める。		
状況を示す写真や資料等			
余芳移築再建予定地周辺の一次造成			
			
着手前		完了	
景石の修理			
			
着手前		完了	
			
現地説明会の開催 平成30年11月23日 午前・午後の計2回 参加者数は延べ99人		余芳移築再建 予定地 二之丸庭園平面図(部分)	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
名古屋城石垣の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間 昭和50年度～			
支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業			
計画に記載している内容	特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大きな孕みがみられた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。平成28、29年度は、石垣前面の地盤補強工事として杵工を実施した。平成30年度は、石垣の取り外しを実施した。平成25～28年度に、修復現場見学会を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		積み直す際の工法・工程や石垣の勾配など修復計画について、関係機関と調整しながら検討を進める。	
状況を示す写真や資料等			
 石垣整備箇所(本丸搦手馬出)			
   修復工事前の石垣(平成14年度) 修復工事中の石垣(平成30年度末)			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成元年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公文書の収集、資料の常設展示のほか、企画展やミニコンサートなどのイベントを開催した。 ●平成30年度入館者 101,446人(平成31年3月末現在) ●平成29年度入館者 84,893人 ●平成28年度入館者 78,375人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		これまで以上に費用対効果が高いPR手法の選択のため、より経済的かつ効果的な広報媒体・広報ツールのリサーチ及び活用が必要	
状況を示す写真や資料等			
●企画展 「旧名古屋控訴院・地方裁判所・区裁判所庁舎の今昔」 平成30年4月10日～平成30年5月11日 入館者9,672名 「続 半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展(続編予告)」 平成30年4月20日～平成30年6月20日 入館者18,283名 「絵はがきパネル展 明治から昭和の広小路特集」 平成30年6月1日～平成30年6月20日 入館者5,772名 「夏休みこども企画展 名古屋市のうつりかわり」 平成30年7月21日～平成30年8月31日 入館者9,379名 「続 半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展」 平成30年9月11日～平成30年10月28日 入館者16,419名 「英貨公債と名古屋市の都市基盤整備」 平成30年11月16日～平成30年12月24日 入館者11,081名 「絵はがきパネル展 なつかしの大須界隈」 平成31年1月18日～平成31年2月17日 入館者8,294名 「アンティークガラス展」 平成31年1月30日～平成31年2月27日 入館者7,761名 ●主なイベント 「歩こう!文化のみち」 平成30年11月3日 入館者 1,615名 「スプリングコンサート」 平成30年2月16日 入館者 677名  続 半世紀前の名古屋のまちかど 写真パネル展 平成30年9月11日～平成30年10月28日 入館者16,419名  夏休みこども企画展 名古屋市のうつりかわり 平成30年7月21日～平成30年8月31日 入館者9,379名  歩こう!文化のみち 「桜台高校ファッションショー」の様子 平成30年11月3日 入館者1,615名			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。		
【定量的評価】		
30年度 入館者数32,686人	貸室稼働率22%	利用者満足度 98%
29年度 入館者数30,886人	貸室稼働率32%	利用者満足度 98%
28年度 入館者数34,085人	貸室稼働率31%	利用者満足度 100%
無料開放日	2月8日	7月17日
名古屋まつり	868人	72人
	983人	367人
	1,026人	217人
		1,213人
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題である。 イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていくことが必要である。	

状況を示す写真や資料等

平成30年度は企画事業を89件実施。
(平成29年度企画事業数59件)



パネル紹介
「文化のみち全体の紹介パネル」



常設展示
「貞奴着物展示」(年10回入替展示)
写真:しだれ桜と川の紋様の華やかな色留袖



企画事業
「きらきら二葉館ハロウィンウィーク」
平成30年10月25日～31日
(期間総入館者数 668名)



企画事業 開館記念日「ふたばの日」
大正琴澄音会のコンサート
平成31年2月8日 (無料開放日)
当日入館者数 886名

※ 郷土ゆかりの文学資料室についてはP30に記載

評価対象年度		平成30年度																				
項目	現在の状況																					
文化のみち榎木館の管理運営	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																					
事業期間	平成21年度～																					
支援事業名	市単独事業																					
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち榎木館の保存・活用を進める。																					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																						
歴史的建造物である文化のみち榎木館を平成21年7月17日から一般公開している。文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。 【定量的評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>無料開放日</th> <th>2月8日</th> <th>7月17日</th> <th>名古屋まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30年度 入館者数16,995人 貸室稼働率31% 利用者満足度97%</td> <td></td> <td>503人</td> <td>40人</td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>29年度 入館者数15,770人 貸室稼働率28% 利用者満足度97%</td> <td></td> <td>410人</td> <td>170人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>28年度 入館者数16,282人 貸室稼働率30% 利用者満足度96%</td> <td></td> <td>313人</td> <td>187人</td> <td>744人</td> </tr> </tbody> </table>				無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり	30年度 入館者数16,995人 貸室稼働率31% 利用者満足度97%		503人	40人	530人	29年度 入館者数15,770人 貸室稼働率28% 利用者満足度97%		410人	170人	100人	28年度 入館者数16,282人 貸室稼働率30% 利用者満足度96%		313人	187人	744人
	無料開放日	2月8日	7月17日	名古屋まつり																		
30年度 入館者数16,995人 貸室稼働率31% 利用者満足度97%		503人	40人	530人																		
29年度 入館者数15,770人 貸室稼働率28% 利用者満足度97%		410人	170人	100人																		
28年度 入館者数16,282人 貸室稼働率30% 利用者満足度96%		313人	187人	744人																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題である。イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていくことが必要である。																					
状況を示す写真や資料等																						
平成30年度は企画事業を27件実施。 平成29年度企画事業数29件  常設展示 2F 「文化のみち」における近代建築物の保存と活用  企画事業 「名古屋と瀬戸を結ぶ上絵付2人展」 平成30年7月14日～7月29日(総入館者数392名)  企画事業 「文化のみち雑巡り かわいいお雛様特集」 平成31年2月2日～3月10日  企画事業 開館9周年記念 HARU QUARTET SPECIAL CONCERT 平成30年7月15日 当日入館者数 60名  企画事業 春の撫松庵茶会 平成30年4月8日 当日30名参加																						

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目	現在の状況	
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～平成35年度	
支援事業名	市単独事業 ※名古屋市分のみ	
計画に記載している内容	名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎(ともに重要文化財)の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
名古屋市役所本庁舎(重要文化財)の歴史と魅力を広く市民に伝えていくため、平成19年度から実施している庁舎開放イベント(11月3日)を実施し3,100人が参加したほか、小中学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、平成30年度は閉庁日のガイドツアーを季節ごとに実施し、計315名が参加した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	継続実施。ガイドツアーの実施については、実績に応じて、開催日及び募集人数を検討。	
状況を示す写真や資料等		

●庁舎開放イベント実施結果

開催日 : 平成30年11月3日(祝・土)
 開催時間: 午前9時30分～午後4時00分
 入場者数: 3,100人

(愛知県本庁舎開放 同日開催)

入場者数: 4,376人

(参考)過去3年間の入場者数

平成27年度	5,900人
平成28年度	3,300人
平成29年度	3,800人

●庁舎開放イベントの様子



11月3日 歩こう文化のみち

●庁舎見学の受け入れ実績

平成30年度	33団体(554名)
--------	------------

(参考)過去3年間の受け入れ実績

平成27年度	41団体(868名)
平成28年度	39団体(611名)
平成29年度	38団体(496名)



11月3日 歩こう文化のみち
フェアトレード・コーヒーガーデン(屋上)

●平成30年度ガイドツアー実施結果

開催日 : 平成30年6月2日(土)
 平成30年8月26日(日)・9月1日(土)
 平成31年1月19日(土)・27日(日)

開催時間: ①午前10時～
 ②午後1時～

参加者総数: 315名

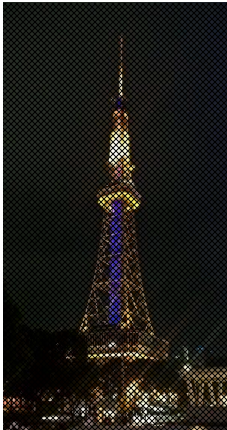
※応募総数477通

●ガイドツアーの様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	日本初の集約電波塔であり、本市の戦災復興を象徴する登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
栄地区のシンボルである名古屋テレビ塔(登録有形文化財)の魅力を発信するため、夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベントを季節ごとに内容を変えて実施(年2回) 耐震性及び内部の機能向上のため、平成31年1月7日から休館し改修工事を実施。 営業再開は2020年7月ごろ営業再開(予定)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。	
状況を示す写真や資料等		
■季節ごとにプロジェクションマッピングの内容を変えて実施  名称 CITY LIGHT FANTASIA byNAKED -万華鏡花火を星空に- 日程 平成30年7月18日(土)～9月27日(日)  名称 CITY LIGHT FANTASIA byNAKED -Anniversary- 日程 平成30年10月27日(土)～1月6日(日)		
【栄地区まちづくりプロジェクトとは】 リニア中央新幹線の開業に向け、名駅地区と栄地区が個性を生かした魅力向上を図るため、栄地区を魅力あるまちへと再生し、持続的に発展させることを目的とした基本方針「栄地区グランドビジョン—さかえ魅力向上方針—」に基づく取り組み ○栄地区グランドビジョンにおける方針 方針1 公共空間の再生 「にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成」 方針2 民間再開発の促進 「機能更新が進み活気あふれる都市空間の形成」 方針3 界隈性の充実 「個性を持った多様で魅力的な界隈の創出」		

評価軸③-09

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目	現在の状況	
「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)	☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～平成30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化財保存事業費関係国庫補助	
計画に記載している内容	守山区上志段味地区に残る志段味古墳群の保存・活用のため、一部の古墳の復元整備を行うとともに、各種施設を適宜整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
27年度～古墳・緑地整備工事着手 28年度～部分供用開始 29年度:「歴史の里」基本計画(平成26年3月策定)に基づき、展示収蔵施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」の整備に向け、設計を実施。 30年度:体感!しだみ古墳群ミュージアムのオープンに伴うガイダンス施設及び周辺施設、緑地等の整備を行った。整備の結果、平成31年4月1日にオープンを迎える。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、第2期整備に向け、調査及び整備計画の策定を行う。	
状況を示す写真や資料等		
 体感!しだみ古墳群ミュージアム (平成31年4月1日オープン)  体感!しだみ古墳群ミュージアム建物裏側  案内看板(勝手塚古墳)  整備された古墳エリア (大塚・大久手古墳群地区)		
【平成30年度実施の古墳整備の事業内容】 ○体感!しだみ古墳群ミュージアムの整備・開館準備 ○白鳥塚古墳駐車場及びトイレの整備 ○施設案内サインの整備		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
本町城下町歴史案内板等整備事業		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成26年度～平成30年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、歴史案内板の設置、スマートフォンと連携した情報提供等、本町通周辺の環境整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成30年度は、歴史案内板を設置した。また、スマートフォンアプリ「名古屋歴史スマートナビ」を廃止し、その機能を「なごや歴史探検」に移行し情報発信を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	歴史案内板の整備を実施した。今後は、スマートフォンアプリなどを活用し情報発信を推進していく。	
状況を示す写真や資料等		

案内板 板面図

なごや歴史探検
ダウンロード件数

平成30年度: 4,068件
 平成29年度: 904件
 計 4,972件

参考
 名古屋歴史スマートナビ
 ダウンロード件数
 平成29年度: 3,575件
 平成28年度: 1,291件
 合計 4,866件

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和60年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白壁・主税・榎木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成30年度は1件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は6件。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

◆白壁・主税・榎木町並み保存地区
江戸時代の武家屋敷の地割を残しており、門・塀と緑樹からなる屋敷景観と戦前の優れた近代建築が残る。



主税町地区



榎木館

【補助件数】

	H30	H29	H28
伝統的建造物の修理	1	1	1
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0
必要物件の整備	0	0	0
計	1	1	1

※累計補助件数(昭和60～平成30年度):51件

○平成30年度の町並み保存補助事業

洋館の外壁修理(板張り部の浮き釘処理及び塗装工事等)



全景



修理前


 修理後
 (板張り部の浮き釘処理
 及び塗装工事等)

【指導・助言件数(届出件数)】

	H30	H29	H28
伝統的建造物の修理	1	1	1
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	5	6	2
計	6	7	3

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的な建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。平成30年度は2件の助成を行った。あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行った。指導・助言件数は2件。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。

状況を示す写真や資料等

◆四間道町並み保存地区

慶長15年に始まった清州越しにとまってつくられた商人町で、土蔵群と町家が堀川の水運を利用して隆盛を誇った清州越し商人の栄華を今に伝える。



【補助件数】

	H30	H29	H28
伝統的建造物の修理	0	3	3
伝統的建造物以外の建造物の修景	2	0	0
必要物件の整備	0	0	0
計	2	3	3

※累計補助件数(昭和60～平成30年度):61件

○平成30年度の町並み保存補助事業

①店舗新築修景



大船町通側



四間道側

②塀の新築修景



四間道

【指導・助言件数(届出件数)】

	H30	H29	H28
伝統的建造物の修理	0	1	2
伝統的建造物以外の建造物の修景	2	0	0
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	0	2	3
計	2	3	5

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
徳川園の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も、来園者に城下の歴史文化を楽しみながら感じてもらえる企画を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
平成30年度は企画事業10件実施。季節ごとにイベントを企画している。			
<u>武家装束展</u>  甲冑、武家装束、大名道具の展示。 本物の甲冑の試着会実施。(5/4～11、10/2～6) <u>鍋屋上野町源氏天流棒の手</u>  名古屋市指定無形文化財、郷土芸能「棒の手」の演技を上野棒の手保存会の協力で実施した。(11/3)			
<u>鷹狩文化講演</u>  諏訪流古技保存司会の協力による徳川家康も夢中になった鷹狩りの歴史と文化についての講演会。講演会終了後、鷹狩りの衣装や鷹の飛翔を <u>流し雛</u>  流し雛は現在の雛飾りの原型とされ、源氏物語にもその記述が残っている。徳川美術館の雛飾りの時期			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
蓬左文庫の保存と公開活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示を開催した。蔵書の調査研究の成果をもとに講演会・講座などの催事を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	同じ敷地内にある徳川美術館・徳川園と日常的な情報交換を密にし、相互の連携を深める。	
状況を示す写真や資料等		
閲覧室 閲覧室利用者数 1,910人 閲覧件数 1,663件(市内 673件 県内 471件 県外 519件) 閲覧冊数 13,106冊 参考質問 382件  皇室文化 春季特別展チラシ 企画展 平成30年 6月 1日(金)～7月16日(月祝) 「タイムスリップ1918 大正の名古屋ー米騒動絵巻に見る100年前のモダン都市ー」 「ユネスコ世界記録遺産登録記念 朝鮮通信使と名古屋」 観覧者数 22,047人 (1日平均551人) 平成30年7月21日(土)～9月 2日(日) 「英雄たちの戦国合戦」 観覧者数 28,234人 (1日平均724人) 平成30年11月 3日(土祝)～12月16日(日) 「徳川慶勝の幕末維新」 観覧者数 38,652人 (1日平均1,017人) 平成31年 1月 4日(金)～ 2月 3日(日) 「書は語るー30センチのエスプリー」 観覧者数 10,979人 (1日平均407人) 平成31年2月 9日(土)～3月31日(日) (展示は4月 7日まで) 「ひなを楽しむー旧家のひな飾りー」 観覧者数 40,542人 (1日平均921人) 企画展チラシ 講演会・講座 6月14日 講座「絵はがきに見る名古屋城」 48人 11月8日 講演会「慶勝と茂徳の暗闘ー文久～慶応期の尾張藩ー」 150人 11月15日 講座「西洋砲術と尾張藩」 108人 講演会会場風景 催事 4月 1日(日)「第13回桜二胡音楽会2018」 2,600人 6月 3日(日)「徳川園山車揃え」 5,000人 11月 3日(土)「歩こう!文化のみち」(スタンプラリー) 18,993人 11月 3日(土)～11月11日(日) 蓬左文庫古書市 1,637人 古書市会場風景		

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
堀川の総合整備		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和61年度～	
支援事業名	防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)	
計画に記載している内容	堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守る。 平成30年度 護岸整備延長 約0.5km 平成30年度 河道掘削量 約1万3千m3		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		河川整備工事には時間を要するが着実な事業進捗を図っていく。 また、水辺空間を活用することでにぎわいづくりを進める。

状況を示す写真や資料等

【護岸整備】



整備前

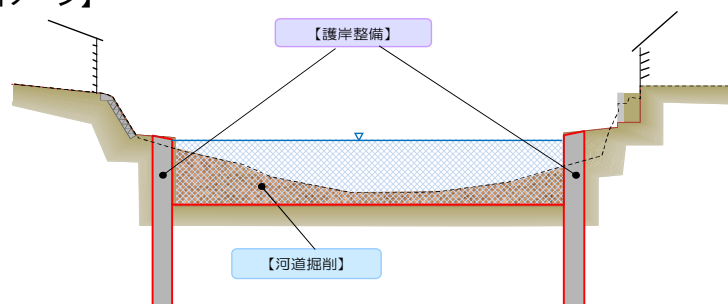


整備後

【河道掘削】

護岸整備状況
(住吉橋下流)河道掘削状況
(尾頭橋上流)

【整備イメージ】



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
尾張名所図会看板の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

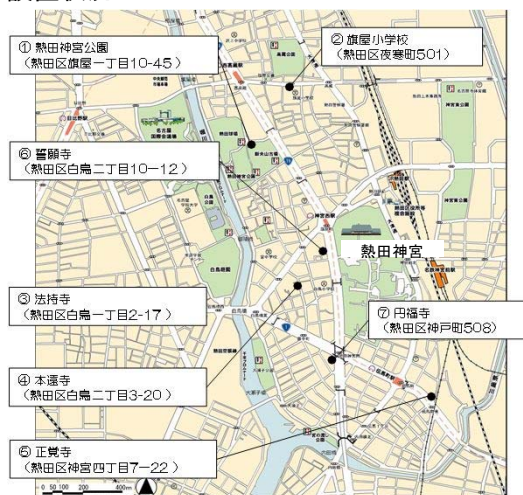
尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。

【設置基数】24年度…2基、26年度…2基、27年度…2基、29年度…1基、30年度…3基 計10基

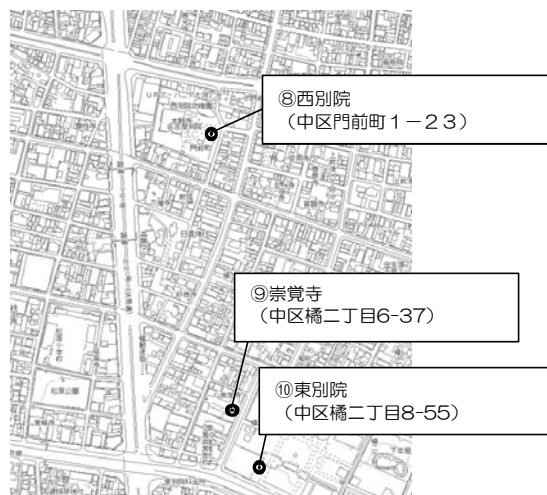
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名古屋の歴史の見える化を図り、特に熱田界隈の回遊性を高めるため、設置場所を検討しながら実施していく。また、適切な維持補修に努める。

状況を示す写真や資料等

○設置状況



熱田界隈



城下町界隈



【正覚寺 H27設置】



年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所
H24	2	断夫山 夜寒里古覧	熱田神宮公園 旗屋小学校
H26	2	白鳥山法持寺 法華堂本遠寺	法持寺 本遠寺
H27	2	妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺	誓願寺 正覚寺
H29	1	亀井山円福寺	円福寺
H30	3	西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所	西本願寺 崇覚寺 東本願寺
合計	10		

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
中川運河の再生		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～（堀止緑地の整備は平成33年度までを予定）	
支援事業名	防災・安全交付金（港湾改修事業、緑地等施設整備事業）※堀止緑地の整備について	
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生などに取り組む。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
① 堀止緑地の整備 平成29年度 緑地一部供用（西側約0.6ha） ／ 平成30年度 緑地整備（南側通路舗装 転落防止柵） 緑地整備（東側通路舗装） ② 護岸改修 平成29年度 護岸補修工事（約60m） ／ 平成30年度 護岸補修工事（約120m）		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

状況を示す写真や資料等

① 堀止緑地の整備

<中川運河堀止船だまり周辺>



② 護岸改修

<猿子橋 周辺>



項目	評価対象年度	平成30年度
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国庫補助事業及び市単独事業

計画に記載している内容 大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

久屋大通の再生にあたり、改正都市公園法により創設されたPark-PFI制度を活用した久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)の再生にかかる公募を実施し、整備運営事業者を決定した。平成30年度は、整備運営事業者により本格的な工事が1月より開始された。また、久屋大通(南エリア)については、平成30年10月に栄バスターミナル噴水南のりばの暫定活用事業の事業提案募集を行い平成31年2月に事業者を決定するとともに、久屋大通再生有識者懇談会南エリア検討部会を開催し、南エリアの本格整備に向けた整備内容について意見交換を実施した。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	北エリア・テレビ塔エリアの再生については、令和2年に開催される東京オリンピック・パラリンピックまでの供用開始に向けて、整備運営事業者との調整をすすめていく。南エリアについては、地元をはじめとする関係者との意見交換をすすめる。

状況を示す写真や資料等

■久屋大通再生有識者懇談会等を開催

【開催日】 第9回懇談会：平成30年11月8日 第2回南エリア検討部会：平成31年3月27日

■久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア)整備運営事業 ※事業者提案内容

●整備のポイント

- テレビ塔を中心とした明快なビスタラインを形成
- 健全な樹木環境の確保
- 合計約1万㎡におよぶ広場の整備
- 誰もが利用しやすいバリアフリー環境の確保
- 両側町に見立てた新しい街並みによる賑わいの波及

●スケジュール

- 2019年1月 工事着手
- 2020年4月頃 北エリア供用開始
- 2020年7月頃 テレビ塔エリア供用開始

●整備運営事業者
代表構成団体 三井不動産株式会社



往來を促進する上下軸の創出

■栄バスターミナル(噴水南のりば)跡地暫定活用事業 ※事業者提案内容



(広場の活用イメージ)



●事業のテーマ

- 東京オリンピックなどと連動したイベント、発見や体験と出会うイベントを実施・誘致
- BBQレストラン、カフェ、コンビニなどのショップにより、朝昼夜を通して楽しめる都心のサードプレイスを創出

●スケジュール

- 2019年7月 工事着手
- 2020年初頭 供用開始

●整備運営事業者
代表法人 株式会社中日新聞社

項目		評価対象年度	平成30年度								
		現在の状況									
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手									
事業期間	昭和39年度～										
支援事業名	市単独事業										
計画に記載している内容	史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に304基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。平成30年度は、標札の新設や説明文の修正、補修等を実施した。 また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を図ったほか、案内板については補修等を実施した。											
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板がある。計画的に補修を進めていく。									
状況を示す写真や資料等											
【平成30年度案内板新設等件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>説明文等の修正</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 史跡名勝標札の新設  「史跡名勝標札」の補修  【施工前】 ➡  【施工後】 英語文の標札が外れたため、ボルトで止め直した				種別	件数	新設	2	補修	14	説明文等の修正	0
種別	件数										
新設	2										
補修	14										
説明文等の修正	0										

項目	評価対象年度	平成30年度
歴史的建造物の登録・認定		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計175件、認定資産は計68件(ともに累計)となった。

【登録件数】平成29年度 登録地域建造物資産:14件 認定地域建造物資産:7件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」は達成したが、今後も、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
H28	14	0	14
H29	14	7	21
H30	20	1	21
合計	195	69	264

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
H30	4
合計	57

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
H28	2
H29	0
H30	1
合計	14

■登録地域建造物資産(平成30年度登録物件(一部))



第176号 旧鳴海町役場
(緑区鳴海町)



第177号 荻原愛助邸
(昭和区荒田町)

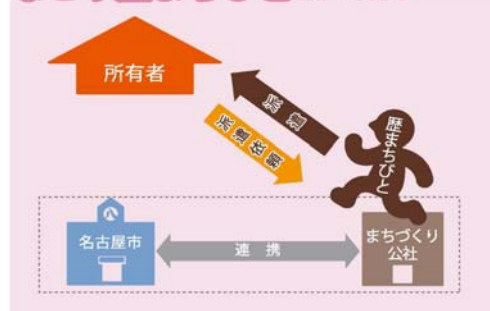


第182号 古民家宿 菊の屋
(中村区竹橋町)

評価対象年度		平成30年度
項目	現在の状況	
なごや歴まちびとの派遣	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行った。 【派遣件数】平成30年度:4件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの追加養成を検討している。	
状況を示す写真や資料等		

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	7
H29	12
H30	4
合計	55

■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■建物調査の様子



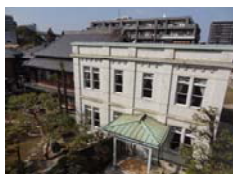
		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化のみのちの推進		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成11年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋城から徳川園に至る「文化のみのち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみのち」などの各種イベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化のみのち施設(文化のみのち二葉館・文化のみのち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「歩こう！文化のみのち」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化のみのち施設による個々の企画や発信だけでなく、連携した取組みを推進していく必要がある。	



文化のみのち二葉館



文化のみのち榑木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎邸



文化のみのちエリア

【実施イベント】



連携事業
 「第19回歩こう！文化のみのち」
 平成30年11月3日
 (参加者数:18,993人)



連携事業
 「文化のみのち雑遊
 スタンプラリー」
 平成31年2月2日～3月10日
 参加者:延べ10,704人

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
「歴史の里」整備事業(公開活用事業)			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係国庫補助		
計画に記載している内容	ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りと連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを養成し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
毎年恒例となった秋の「体感！古代秋まつり」を始め、3月30日31日のオープニングイベントでもたくさんの方にお越しいただき、整備された歴史の里を見ていただくことができた。地元で開催されたイベントへの参加や地元の保育園幼稚園訪問を行い、地域の住民の方との交流もはかるとともに、市内中心部や市外でも普及啓発を行うことでより多くの方に認知してもらう取り組みを行った。また、ガイドボランティアは市内外の小中学校をはじめ、社会福祉協議会などからのガイド依頼が毎月あり、その役割を果たしている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成31年3月30日のオープニングセレモニーをもって、歴史の里整備事業が完了した。現地を活用した普及啓発活動や市内外で行った普及啓発活動の効果もあり、当初の予想を上回る来館者数を記録している。引き続きお客様に来ていただけるようなPRや魅力的なイベントを行っていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 体感！古代秋まつり 平成30年11月11日実施 参加者数累計7,369人  体感！しだみ古墳群ミュージアム オープニングイベント 平成31年3月30日・31日  地元近隣幼稚園・保育園訪問 平成30年12月～平成31年2月 中志段味保育園、高蔵寺幼稚園、春日井いずみ幼稚園、志だみ幼稚園、しだみ保育園、キルクこども園 上記6園を訪問  歴史の里マイスター 平成30年4月～平成31年3月 古墳ガイド、古代体験(埴輪作りなど)を実施 実施回数累計26回 参加人数累計11,483人			

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費		
計画に記載している内容	指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付した。 (平成30年度市指定文化財等の保存団体53件へ補助を実施(民俗文化財などは国の補助事業も活用)) (平成28年度実績:48団体 平成29年度実績:58団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。		

状況を示す写真や資料等

○勝鬨寺本堂(中区)保存管理事業
過去に取り外された浜縁高欄の復旧。

<復旧前



<復旧後



評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく「地域まちづくり」を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 H28年度サポート制度活用団体 9団体 H29年度サポート制度活用団体 9団体 H30年度サポート制度活用団体 9団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取り組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。 【地域まちづくり活動団体登録: 平成29年度 19団体、平成30年度 24団体】 (平成29年度から登録認定制度運用開始)		
状況を示す写真や資料等			
 ≪錦二丁目まちづくり協議会≫ まちづくり構想を実践するための実行プラン作成のための勉強会等を実施(写真は平成30年11月14日)			
 ≪平針南学区自治会≫ まちの将来像を話し合うワークショップを開催 (写真は平成30年11月21日)			

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成4年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、上洛殿上段之間の床壁貼付絵や襖絵、天井板絵など33面を制作した。 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。 平成29年度は、上洛殿松之間の襖絵や上洛殿三之間の天井板絵など48面を制作した。 平成30年度は、上洛殿松之間の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など35面を制作した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める。		
状況を示す写真や資料等			
【平成30年度 制作画面(一部)】			
			
上洛殿松之間襖絵			
			
上洛殿一之間天井板絵			
平成30年度末 進捗率 53% (1,325面中701面完了)			

項目		評価対象年度	平成30年度			
			現在の状況			
名古屋城本丸御殿障壁画保存修理			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間 昭和61年度～						
支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金						
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
平成25年度は、上洛殿の天井板絵30面の保存修理を行った。 平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 平成29年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、玄関の障子腰貼付絵など18面の点検修理を行った。 平成30年度は、上洛殿の天井板絵25面の保存修理、上洛殿や表書院の襖絵など16面の点検修理を行った。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う。					
状況を示す写真や資料等						

【平成30年度 修理画面(一部)】



上洛殿入側天井板絵



上洛殿上段之間天袋襖絵



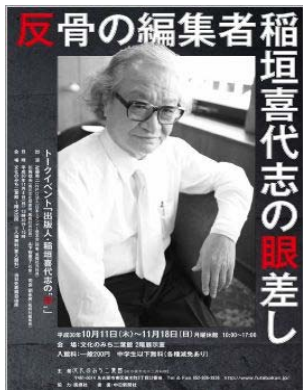
表書院三之間西側襖絵 麝香猫



表書院二之間東側襖絵 槇楓椿

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
郷土ゆかりの文学資料室		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。 〈平成29年度〉稲葉京子氏、城山三郎氏、宗田理氏関係寄贈資料(739点)、三宅千代氏等関係寄贈資料(467点) 〈平成30年度〉亀山巖、「あじくりげ」寄贈資料(86点)、宗田理氏、城山三郎氏、中部ペンクラブ寄贈資料(116点) ○収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催 〈平成29年度〉あじくりげ展、江戸川乱歩展、中部同人誌展 〈平成30年度〉稲葉京子展、宗田理展、稲垣喜代志展、亀山巖展		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	さらに多くの方々に施設に訪れていただき、興味を持っていただけるよう、今後もインターネットを活用するなどより効果的な周知方法を検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
○文学資料(寄贈品)の調査・保存 〈平成29年度〉 ・稲葉京子氏等関係寄贈資料…著書はじめ739点 ・三宅千代氏等関係寄贈資料…直筆原稿はじめ556点 〈平成30年度〉 ・亀山巖、「あじくりげ」資料…絵画、貴重本はじめ86点 ・宗田理氏、城山三郎氏、中部ペンクラブ寄贈資料…冊子はじめ116点		
 		
寄贈された資		
○文学関係企画展 〈平成29年度〉 ・「食の文化誌『あじくりげ』展 5月24日～6月21日 期間中入場者 2,095名 ・「児童文学リバイバル展『新美南吉の世界をたずねて』展 8月1日～8月31日 期間中入場者 1,849名 ・「江戸川乱歩と人形」展 10月18日～11月15日 期間中入場者 3,781名 ・「中部の同人雑誌展-清水信さんを偲んで」展 2月2日～3月4日 期間中入場者 3,394名 〈平成30年度〉 ・「稲葉京子展 花と想念の歌人」展 5月23日～6月24日 期間中入場者 2,689名 ・「ぼくらシリーズ」宗田理作品を読もう!」展 8月1日～9月2日 期間中入場者 1,891名 ・「反骨の編集者 稲垣喜代志の眼差し」展 10月11日～11月18日 期間中入場者 5,312名 ・「亀山巖と名古屋豆本」展 2月6日～3月10日 期間中入場者 4,270名		
 		
企画展「亀山巖と名古屋豆本」展の様子		「反骨の編集者 稲垣喜代志の眼差し」展 チラシ

評価軸③-29

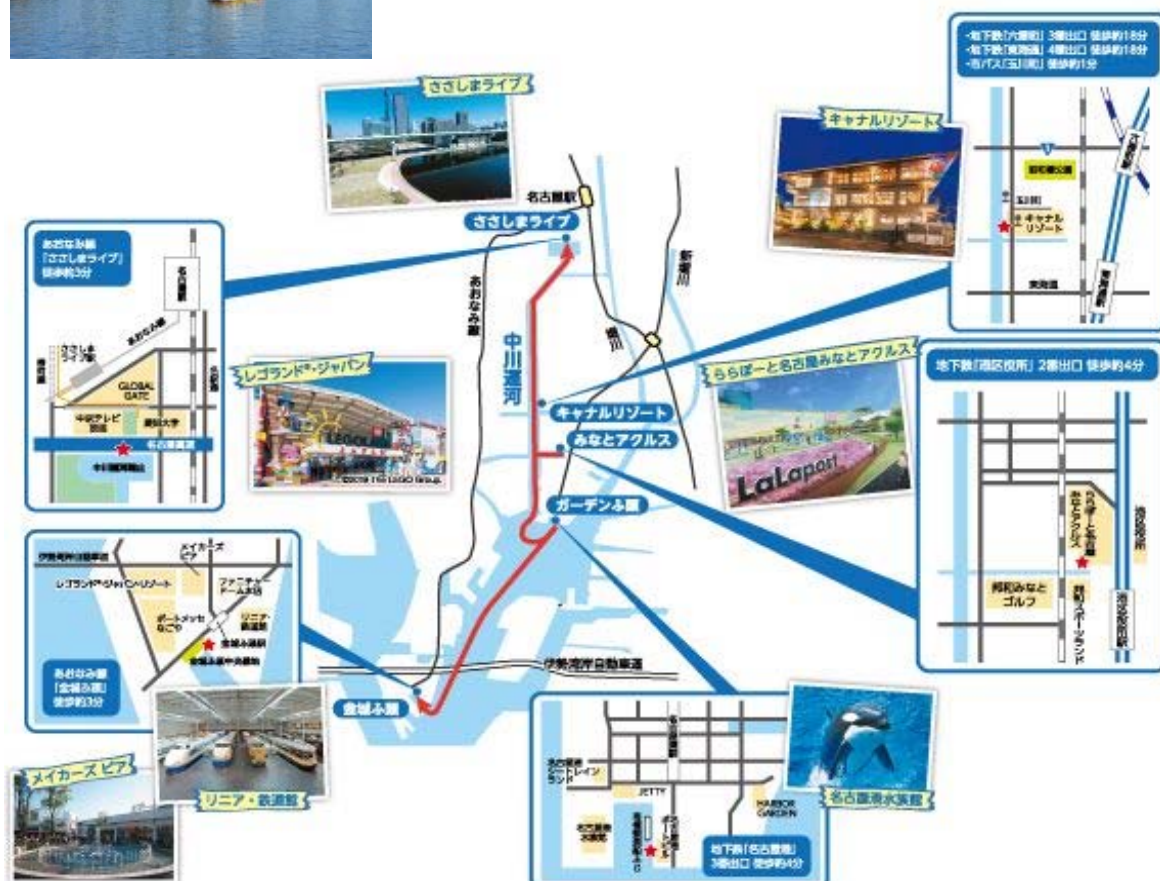
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
水上交通ネットワークの検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(平成28年度) ・中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査の実施に向け、運航事業者の公募等を行い、東山ガーデン株式会社を事業者に決定した。			
(平成29年度) ・中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査を開始した。(愛称:クルーズ名古屋)			
(平成30年度) ・中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査を引き続き実施し、新たに、みなとアクルスへ寄港開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



【クルーズ名古屋運航ルート】



評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
「ものづくり文化の道」推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	名古屋駅北東に位置する西区の南部地域を「ものづくり文化の道」とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信していく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、体験や展示が楽しめる「ものづくり文化の館」を開催した。 ●当該地域の魅力のひとつである菓子産業を広く発信するために、「西区も～やっこお菓子まつり」を開催した。		
開催場所	日時	体験者数
円頓寺七タまつり	平成30年7月29日(日) 午後2時30分～午後7時 ※28日(土)は警報発令のため中止	200人
西区民おまつり広場	平成30年10月14日(日) 午前10時～午後3時	243人
mozo ワンダーシティ	平成31年2月16日(土) 午前11時～午後4時	187人
開催場所	日時	来場者数
庄内緑地	平成30年10月14日(日) 午前10時～午後3時	69,000人
※同時開催した西区民おまつり広場の来場者数を計上		
●当該地域の「ものづくり文化」に触れてもらうために、ガイドによるまち歩き・ものづくり体験を行う「親子で行こう『ものづくり文化の道』体験ツアー」を開催した。		
実施日	参加者	内容
平成30年11月24日(日)	子13人、親11人	まち歩き・体験(レザークラフト体験)
平成31年3月10日(日)	子13人、親10人	まち歩き・体験(名古屋友禅体験)
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	イベントによってこの地域の盛り上げや魅力の発信を行っているが、経常的にこの地域を訪れて楽しんでもらうものが少ないことが課題である。	
状況を示す写真や資料等		

ものづくり文化の館

・実演



・展示



・体験



西区も～やっこお菓子まつり(平成30年10月14日)

・菓子販売



・組み飴の実演



・なりきりパティシエ



親子で行こう「ものづくり文化の道」体験ツアー

・ガイドによるまち歩き



・ものづくり文化体験(レザークラフト・名古屋友禅の体験)



項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	およそ400年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成30年7月11日(水)～平成31年1月10日(木)「中区スマホdeまちめぐり」を開催。参加者48名 ・平成30年7月21日(土)に中区制110周年記念事業「堀川歴史たんけんクルーズ」を開催。参加者53名(親子27組) ・平成30年10月28日(日)に第43回堀川文化講座「明治150年 ～徳川慶勝公の幕末から明治～」を開催。終了後「おから猫ドーナツ」を参加者に配布。参加者150名 ・平成30年11月4日(日)第23回堀川文化歩こう会「金山界隈の歴史と文化を探索」を開催。参加者44名			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	参加者の年齢層が高いため、中区制110周年記念事業として親子を対象とした「堀川歴史たんけんクルーズ」を開催して若年層の参加を促した。		
状況を示す写真や資料等			
中区制110周年記念事業「堀川歴史たんけんクルーズ」(平成30年7月21日)			
			
第43回堀川文化講座「明治150年 ～徳川慶勝公の幕末から明治～」(平成30年10月28日)			
			
第23回堀川文化歩こう会「金山界隈の歴史と文化を探索」(平成30年11月4日)			
			

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
熱田区役所における歴史資料展示		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
年2回の展示替及び市役所施策PRスペース、区民まつり、生涯学習まつりでの展示を行った。 歴史資料の分類整理については、展示替え作業及び各所での展示と並行して、デジタル化の作業を進めた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	課題: 熱田区歴史資料展示コーナーの認知度を高めること 対応方針: 庁舎内の案内表示の変更やイベント等でのチラシ配布	
状況を示す写真や資料等		
 第18回展示「広重のみた「宮」」 H30.4.4～H30.9.21 展示の様子  ポスター  資料: 東海道四十二「五十三次宮」		
 第19回展示「幕末から明治へ」 H30.10.1～H31.3.25 展示の様子 資料: 団扇絵「文明開化・七里の渡」など   市役所施策PRスペース(西庁舎B1) H30.6.1～H30.7.31 展示の様子		
 熱田区民まつり「にぎわい秋まつり」 H30.10.14 展示ブースの様子 		

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
名古屋まつり		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和30年度～	
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）	
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
多くの市民及び本市来訪者等に、市の伝統・文化・魅力に触れ、知っていただくことを目的に名古屋まつりを実施した。 平成30年(第64回)名古屋まつり(10月20日(土)・21日(日))を中心に開催) 【主な事業】 ・英傑行列を始めとした行列 ・久屋大通公園を中心とした会場行事 【人出】221万人 平成29年度 人出 24.3万人(台風21号の接近) 平成28年度 人出 220万人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も、まつりを通じて名古屋の伝統、文化、魅力に触れてもらうことを目的に計画的に実施。	
状況を示す写真や資料等		
行列  郷土英傑行列  山車揃 会場行事  久屋大通公園会場  久屋大通公園会場		

評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及び文化財公開活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助		
計画に記載している内容	指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助するとともに、文化財公開活用事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。 補助件数 平成30年度26件、平成29年度31件、平成28年度19件(市単独事業のみ) ・名屋の歴史や文化の魅力を紹介する観光情報アプリ「なごや歴史探検」の機能強化を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。	

状況を示す写真や資料等



緑区有松東町布袋車の幕修理についての有識者による修理指導



若宮八幡宮福祿寿車修理事業の作業立ち会い

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
伝統産業若手育成事業助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成28年度補助金交付件数:10件 ・平成29年度補助金交付件数:12件 ・平成30年度補助金交付件数:7件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。	
状況を示す写真や資料等		
 享保年間に京都から伝わる。「手描友禪」と「型友禪」の二つの技法があり、単彩濃淡調の渋い色使いが特徴。 補助金交付団体名 名古屋友禪黒紋付協同組合連合会 名古屋友禪	 江戸期に尾張藩が作り始めた旗印などの染色品が起源。黒の美しさ・丈夫さに優れる。 補助金交付団体名 名古屋友禪黒紋付協同組合連合会 名古屋黒紋付染	
 江戸期に宮大工や寺大工が専門製造を始め発展。宮殿御坊造を代表とする豪華な構造が特徴。 補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合 名古屋仏壇	 室町時代から生産。明治初期には貴重な輸出品となり、生産量全国一を誇った時期も。 補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合 名古屋提灯	
 天保年間に尾張海東郡の梶常吉により技法が確立。ガラスのきらめく様子や折り重なる色彩の深みが特徴。 補助金交付団体名 名古屋七宝協同組合 七宝	 尾張近郊で採れる良質な木材を資源に、下級武士の内職として発展。多様な工程と、色鮮やかな仕上がりが特徴。 補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 尾張仏具	

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統産業新商品開発事業助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成28年度補助金交付件数:3件 ・平成29年度補助金交付件数:2件 ・平成30年度補助金交付件数:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も現代ニーズに合った商品開発の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			



- ・補助金交付団体名
名古屋仏壇商工協同組合
- ・新商品名
「伝統的工芸品15号各宗派向け」



- ・補助金交付団体名
尾張仏具技術保存会
- ・新商品名
「現代型六角焼香机」

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
伝統産業製品PR事業助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・平成28年度補助金交付件数:6件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:2件) ・平成29年度補助金交付件数:5件(PR冊子等作成:2件、体験教室等:3件) ・平成30年度補助金交付件数:7件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:3件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業製品のPR支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。	
状況を示す写真や資料等		
 ・補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合 ・事業内容 小学生向け体験教室  ・補助金交付団体名 名古屋友禅黒紋付協同組合連合会 ・事業内容 小学生向け体験教室		
 ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 ・事業内容 仏具の歴史や職人の技術の高さを紹介したPRパンフレット作成  ・補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合 ・事業内容 神事、祭礼用など各種提灯をまとめたPRパンフレット作成		

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
名古屋市民芸術祭		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
参加公演事業では、伝統芸能などの4部門で参加を募り、部門ごとに市民芸術祭賞・市民芸術祭特別賞を授与した。 (伝統芸能部門 参加公演数:③03公演②9②8②74公演 市民芸術祭賞:③0②91公演 ②8②7該当なし 市民芸術祭特別賞:③0②9②8②71公演)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公演によっては、日程の都合上、実地審査への参加が難しい審査員もいらっしゃるが、できる限り多くの審査員に各公演にご参加いただけるよう、引き続き調整を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		
 都山流尺八峰山会公演 日程:10月19日(金) 会場:名古屋能楽堂		
●参加公演事業(伝統芸能部門) 平成30年度(参加公演数 3公演) ・市民芸術祭賞 「杵屋見佳 長唄三味線演奏会～My Mother's Long Wish～」参加者数300名 ・市民芸術祭特別賞 (企画賞) 「都山流尺八峰山会 竹の響き VOL.5『管管共響』～洋々たる奏楽の音～」参加者数330名 平成29年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 「箏曲正絃社 野村正峰生誕90周年記念 “創造”のDNA－和楽の響き」参加者数597名 ・市民芸術祭特別賞 (精励賞) 「園美の会舞踊公演一部 第四回桜美の会」参加者数280名 平成28年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 該当なし ・市民芸術祭特別賞 (精励賞) 「第15回狂言三の会公演 十四世野村又三郎 斯道四十周年記念」参加者数220名		

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
なごや子どものための巡回劇場		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和55年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
子どもたちを対象とする伝統芸能の公演として、狂言の公演を実施。(平成30年度入場者数:327人) 次代を担う子供たちに、名古屋の伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本事業における他ジャンルの公演に比べ、来場者が少ない傾向にあるが、子どもたちにとっては、数少ない伝統芸能に触れる機会であるため、より多くの方にご来場いただけるよう、実演団体等と引き続き協力していく。	
状況を示す写真や資料等		
●平成30年度 狂言共同社「狂言がやってきた！」 3月27日(水) 昭和化小劇場 3月28日(木) 中村文化小劇場 (各日2回公演) ※入場料は大人・子どもとも700円 平成31年3月27日(水)昭和化文化小劇場、28日(木)中村文化小劇場 狂言公演「柿山伏」「附子」 入場料 700円 全自由席 FAX 申込用紙 30年度公演チラシ(表) 30年度公演の様子 30年度公演チラシ(裏) 演目 「柿山伏」「棒縛」 「附子」「梟山伏」		

評価軸③-40

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
名古屋市芸術文化団体活動助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和48年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統芸能分野(鑑賞団体への助成実績) 平成30年度 1件、平成29年度 2件、平成28年度 2件 音楽分野(邦楽)助成実績 平成30年度 1件、平成29年度 2件、平成28年度 2件		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多いことや、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられるが、出来るだけ多くの団体に活用していただけるよう、今後より効果的な周知方法を検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
○補助対象となる団体 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、直近3年間で1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体 ○補助対象となる事業 当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの ○補助対象とならない事業 ①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市の外での会場で行う事業など		
補助対象となる事業		補助金の額
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会		会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とします。
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会		
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会		会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とします。
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)		上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とします。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・あらたに市域南部東海道周辺の祭礼行事について3年間の調査事業を開始した。各町内にのこる文書類を記録化し刊行した。			
・市指定文化財の追加指定を実施した。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財調査、文化財指定を通じて、文化財を後世に引き継いでいく。	
状況を示す写真や資料等			

【東海道周辺の山車行事調査】

- ・鳴海・有松などの祭礼文化、山車行事について詳細調査を実施



【平成30年度に調査を実施した有松祭りの様子】

【市指定文化財の追加指定】

- ・伊藤圭介資料の追加指定を実施した 64点
(現在 合計1690点)



顕微鏡

【平成30年度に追加指定した伊藤圭介資料】



伊藤圭介ガラス写真板

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「歴史の里」整備事業については、「体感！しだみ古墳群ミュージアム」がオープンを迎え、古墳群の拠点となる施設が完成した。案内表示についても施設周辺や公共交通機関関連施設に案内板・案内サインを設置し、お客様の利便性を高めることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		古墳等の整備では、第2期整備に向けて、調査及び計画策定が必要である。また全体ネットワーク化事業は順調に整備が進んでいる。	
状況を示す写真や資料等			
○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)  (外観図) 展示収蔵施設【体感！しだみ古墳群ミュージアム】 ○延床面積 1,560㎡ ○主な居室 展示室・収蔵庫、体験活動室、キッズコーナー「こどもこふん」、カフェレストランなど ○「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)  JR高蔵寺駅構内案内サイン			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
・防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
指定文化財建造物(29件)の施設・所有者のうち、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて16施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に巡視し、災害等の報告を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	指定文化財建造物の件数が非常に多いが、順次ローテーションを図りながら巡視を継続していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
文化財防災デー(平成31年1月25日)における防災訓練の実施		
		
文化財の搬出訓練		放水訓練
八事山興正寺>		
		
けが人の搬出訓練		放水訓練
<名古屋城>		
【平成30年度 文化財防災デー消防訓練実施施設(計16施設)】 覚王山日泰寺(千種区)、徳川美術館(東区)、慈眼山成願寺(北区)、善光寺別院願王寺(西区) 願成寺(中村区)、名古屋城(中区)、八事山興正寺(昭和区)、名古屋市博物館(瑞穂区) 熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、牛立八幡社(中川区)、小碓神楽保存庫(港区)、富部神社(南区)		

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援（保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等）、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業（全体ネットワーク化事業） ・「歴史の里」整備事業（公開活用事業） ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年3月30日にオープニングイベントが行われ、歴史の里のガイダンス施設「体感！しだみ古墳群ミュージアム」がオープンし、3,801人の方が参加された。昨年同様、整備した緑地や古墳を活用した「体感！古代秋まつり」を開催し、昨年来上回る7,369人の方にご参加いただいた。また整備した古墳を実際に巡ってもらうため、夏休み企画として「ワクワク！スタンプラリー」をおこない500人以上の方が訪れた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		体感！しだみ古墳群ミュージアムの完成によって、普及・啓発の取り組みはひと段落したが、今後お客様が継続的に来ていただけるような啓発活動を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 歴史の里現地での「体感！古代秋まつり」を開催。一部供用を開始している整備した古墳を活用したガイドや復元した木棺に入る体験等を行った。参加者7,369人  夏休み企画として現地の古墳に設置されたスタンプを押しながら、整備した古墳を訪れてもらうイベントを行った。参加者500人以上  3月30日・31日に行われたオープニングイベントでは合計3,801人のお客様が来館された。新しい施設の開館ということもあり、閉館直前まで入場規制がしかれるほどの盛況だった。  「歴史の里」周辺保育園・幼稚園6園に訪問し、整備された現地の様子を紙芝居の読み聞かせやクイズを交えながらスライドで紹介した。すでに訪れている幼児も多く、整備された古墳により関心を持ってもらえることが出来た。参加者数累計840人			

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①) ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①) ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(②～④)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度:平成26年度に作成した文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布 名古屋城本丸御殿跡周辺発掘調査、名古屋城跡勝手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、名古屋城跡西の丸地区発掘調査の報告書作成、勝手塚古墳発掘調査、勝手塚古墳等レーダ探査、東谷山12号墳測量調査、志段味古墳群の群集墳の分布調査 平成28年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを新たに作成し、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布 名古屋城跡勝手馬出石垣解体にともなう発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、名古屋城跡西の丸地区発掘調査、大塚3号墳・白鳥5号墳・白鳥6号墳発掘調査 平成29年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布 名古屋城二之丸庭園発掘調査、勝手塚古墳・白鳥6号墳・東谷山12号墳発掘調査 平成30年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①) 名古屋城跡勝手馬出石垣解体にともなう発掘調査(②)、名古屋城二之丸庭園発掘調査(③)、勝手塚古墳発掘調査(④)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		周知の埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 ①埋蔵文化財届出啓発チラシ  ②名古屋城跡勝手馬出石垣解体にともなう発掘調査(2019.3.13)  ③名古屋城二之丸庭園発掘調査(2018.9.26)  ④勝手塚古墳発掘調査(2018.12.7) 志段味			

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

評価対象年度 平成30年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
本丸御殿 ご覧あれ 全面公開スタート	平成30年6月9日	朝日新聞
2年ぶり 三英傑見参 なごやまつり	平成30年10月20日	中日新聞
この眺め1日限り	平成30年11月4日	朝日新聞
栄バスターミナル跡地 3年間は広場	平成31年2月19日	朝日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業のうち、特に新たな展開のあった事業や歴史まちづくりに関わるイベント等について、報道により市民の関心の向上につながったと考えられる。

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

今後はメディアの他SNS等も活用して市民の関心に訴えていくことが必要である。

状況を示す写真や資料等

本丸御殿 ご覧あれ
全面公開スタート



名古屋城本丸御殿(名古屋市中区)の全面公開が8日、始まった。ささく多の観光客が訪れ、再見された華やかな空間に見入った。河村たかし市長は「世界に自慢できる宝。千年は大事にせいかん」とあいさつした。

本丸御殿は木造平屋建ての書院造り。約3100平方メートルで部屋数は30を超える。徳川家康の命で1615年に建てられ、主に将軍が京都に上洛する際の宿舎とされた。江戸初期の技術で敷いた障壁画や飾り金具を備えていた。1930年に旧国宝に指定されたが、45年5月の空襲で天守とともに焼失した。

名古屋市は2009年1月に復元に着手。戦前に記録された美園図や写真などを参考に、表書院や対面所などを建てた順に公開してきた。最後に、最も格式の高い上洛殿などが完成した。今後10年かけて障壁画の復元競争を進め、順次展示する。(岡田次)



2年ぶり 三英傑見参 名古屋まつり

名古屋市中心部の秋の風物詩「第64回名古屋まつり」が20日、2日間の日程で始まった。恒例の「三英傑行列」は昨年台風で中止となったため、2年ぶりの開催。勇壮な姿を一目見ようと、36万人(主催者発表)の見物客が街道に詰め掛けた。

行列では華やかな衣装に身を包んだ織田信長、豊田秀吉、徳川家康の三英傑と横槍、ねね、千姫の三姫をはじめ、武将や歴元にふんした約600人がJR名古屋駅東口から矢場町まで、矢場町まで大津道を進む。

で、広小路通などを練った。合戦の様子を勢ましく再現する場面もあり、名古屋新南で見物していた守山区の主婦奥田康子さん(68)は「衣装も本物みたいで、パフォーマンも良かった。来年も来たい」と喜んだ。

21日は9台の山車による「山車揃」や東京ディズニーゾートの35周年記念パレードがあり、三英傑行列は市役所を午後1時1分に出発。矢場町まで大津道を進む。

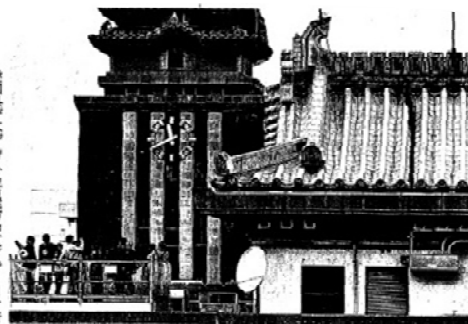
平成30年6月9日 朝日新聞

平成30年10月20日 中日新聞

この眺め 1日限り

愛知県庁舎(名古屋市中区)で3日、昔は見られなかった異変や奇観などを観察できる催しがあった。

愛知県の庁舎は1988年に完成。洋風建築に威風凛々とした和洋折衷の建築様式が特徴で、隣接する名古屋市役所本庁舎とともに、国重要文化財に指定されている。一般公開は2011年から毎年この日に開催される。今年は4988人が訪れた。屋上には特設の展望台やカフェが設けられ、訪れた人たちは、普段は見られない風景を楽しんでいた。(斎藤悠)



平成30年11月4日 朝日新聞

栄バスターミナル跡地 3年間は広場 名古屋市、グラウンドなど整備

名古屋市は18日、中区の「栄バスターミナル敷水南のりば」の移転に伴い、跡地に暫定的に広場をつくることを発表した。グラウンドやステージ、カフェなどを設け、栄中心部にぎわいづくりに役立てる。来年1月に開業し、2023年3月に取り壊すという。

市によると事業用地は約4千平方メートル。中日新聞社を中心とした企業グループが、人工芝のグラウンドや70メートルトラックを設け、スポーツをテーマにした大規模イベントをできるようにする。東京五輪期間中にはJリーグリビューイングも開く。今年7



月にも竣工する。事業費は非公表。市はリニア中央新幹線が開業する27年を見据え、久屋大通公園の再開発を進めている。名古屋テレビ塔を含む北地区の工事は1月に始まったが、栄バスターミナルを含む南地区の再開発計画はまだ決まっていない。栄バスターミナルは3月末に複合施設「オアシス21」東辺に移すが、跡地については再開発計画が固まるまでは集客・交流拠点にする方針。事業進捗を審議していた。(岡田次)

平成31年2月19日 朝日新聞

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

観光客数の動向について

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりである(平成20年度から10年間で約96万人増)。また、本市全体の観光客入込数についても、増加傾向にある(平成20年度から9年間で約1844万人増)。

進捗状況 ※計画年次との対応

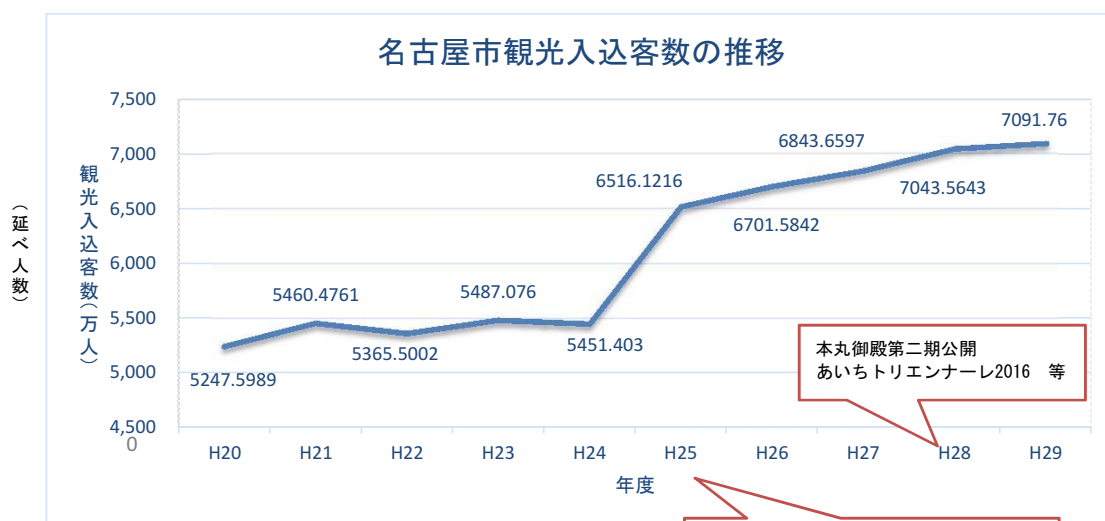
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

名古屋城天守閣木造復元事業にともなう平成30年5月からの天守閣入場制限の影響を踏まえ、本市全体の歴史文化の魅力をさらに底上げ・発信していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



出典:平成29年度名古屋市観光客・宿泊客動向調査(H30.11公表)

⇒観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準(平成25年3月改訂)」に基づき平成29年より調査期間を年度から暦年に変更。

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会	
会議等の開催日時: 令和元年5月22日(水)	
(コメントの概要)	
<主な個別事業等について> ・名古屋城に関しては本丸御殿ができて以来、今回文化財の展示施設や二の丸庭園の整備も進んでいるので、名古屋城の風致は着実に向上していると思われる。 ・歴史の里整備事業(古墳等の整備)に関しては、中核施設となる「体感！しだみ古墳ミュージアム」が完成した。子ども連れが多く来館しており、今後も若い層に来館してもらうための事業等に期待している。 ・市役所本庁舎や愛知県本庁舎など、近代建築を中心とした文化のみちゾーンについては、今後頑張らなくてはならない部分もあるが、一定の連携をすることによって効果は出ている。 ・文化のみちのイベント全体で連携していくことが風致の向上、あるいは市民への周知に役立つと思われる。 ・テレビ塔や松重閘門などの戦後の名古屋の歴史的資産については、更新を迎え用途が変わることによって活用策を考えざるを得ない。その際、歴史的資産の保存と活用というものをうまく調和させながら、戦後の名古屋の近代化の風致向上について努力を求められる。 ・歴史的風致維持向上計画の中では、『もの』だけではなく、そのものを支える人々の生活や、お祭りなどといったものとの連携が大事であるが、そういうところがまだ弱いので、努力が必要である。	
(今後の対応方針)	
・重伝建地区の有松は計画の重点区域ではないが、日本遺産など動きがあるので、とりまとめについて検討する。 ・事業の進捗状況を市民によりわかりやすく伝えるため、制度内容や指標などについては特に留意し、具体的かつ詳細な記載に努める。 ・全体を通し、今後も進捗評価が各事業の一層の推進ないし見直しの契機となるよう、今後とも努める。	